

事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

1. 基本情報

| | | | | |
|-------------|---|------------------------|----------|-------|
| ■事業の担当課 | 都市整備部都市計画課 | | ■担当係 | 公園緑地係 |
| ■評価事業名称 | 修景緑化活動事業 | | | |
| ■事業開始年度 | 平成20年度 | | | |
| ■評価事業コード | 070400 - 554 | | ■会計区分 | 一般会計 |
| ■総合計画での位置づけ | ■政策 | 05 誰もが快適に暮らし続けられるまちづくり | | |
| | ■基本施策 | 01 快適な居住環境の形成 | | |
| | ■施策 | 03 緑のまちづくりの推進 | | |
| ■事業の類型 | 05 ソフト事業(任意) | | ■政策・業務区分 | 政策 |
| ■法令の根拠区分 | 法令に定めはあるが任意の自治事務 | | | |
| ■法令等の名称 | 都市緑地法 | | | |
| ■関連計画の名称 | 北上市緑の基本計画 | | | |
| ■事業の目的と概要 | 市民による緑の景観構築と緑化推進の意識高揚を図る。修景緑化講座の開催、事業所緑化の推進及び関連事務 | | | |

2. 細事業の活動実績情報

| 細事業コード | 細事業名称 | 事業の対象 | 平成28年度事業計画 | 平成28年度事業量実績 |
|--------|----------|-------|-----------------------|-----------------------|
| 01 | 修景緑化活動事業 | 市民 | 修景緑化講座開催1回□参加型緑化40事業所 | 修景緑化講座開催1回□参加型緑化42事業所 |

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

| | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 備考 |
|-----------------|--------|--------|--------|--------|----|
| 直接事業費 | 739 | 692 | 721 | 681 | |
| 人件費 | 1,756 | 840 | 819 | 826 | |
| その他(公債費・減価償却費等) | | | | | |
| フルコスト | 2,495 | 1,532 | 1,540 | 1,507 | |

4. 評価指標等の状況

| 指標コード | 指標名 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 指標の説明 |
|-------|----------|--------|--------|--------|--------|----------------------|
| 01 | 修景緑化講座開催 | 2回 | 1回 | 1回 | 1回 | まちなか修景緑化事業における講習開催回数 |
| 03 | 緑化延長距離 | 800m | 1,050m | 1,050m | 1,050m | まちなか修景緑化事業における緑化延長距離 |
| 04 | 1m当たりコスト | 3,118円 | 1,459円 | 1,466円 | 1,435円 | フルコスト／緑化延長距離 |

事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

| 達成状況の分析 | | 問題点・課題等 |
|---------------------|--|---|
| ■目標達成状況 | <p>A. 順調 B. 概ね順調 C. 遅れている</p> | 継続した公共施設への緑化により、修景緑化活動への事業者の理解が進んでいる。 まちなか修景緑化事業の応募団体が限られており、他地域への波及について、検討が必要である。 |
| 1. 直接的な受益者の範囲 | <p>不特定多数に及ぶ 特定されるが多数に及ぶ 特定少数に限定される</p> | <p>大きな不利益やリスクが生じる ある程度の不利益やリスクが生じる 不利益やリスクは小さい</p> |
| 2. 事業廃止の影響 | | 3. 国・県・民間との競合関係の有無 |
| 4. 事業へのニーズの変化 | <p>ニーズが高まっている ニーズは変わらない ニーズが低下している又は合致しない</p> | <p>類似の事業はない 類似の事業はあるが競合はない 類似の事業があり競合する</p> |
| 5. 施策の改善需要度(市民意識調査) | <p>順位が高い 順位が中程度 順位が低い</p> | 6. 施策の優先度(市民意識調査) |
| 7. 他市町村に比較しての優位性 | <p>先進的またはユニークな事業である 他と同程度の事業である 遅れている事業である</p> | 9. 経済性・効率性の向上 |
| 8. 実施主体の代替性 | <p>民間委託等の拡充は難しい 民間委託等の拡充が十分に可能 全部委託や実施主体の移行が可能</p> | ■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む) 「北上市みどりの基本計画改訂版(H26.3)」においても、市街地の商店街のみどりが少なく、その対策として、企業と一体となった修景緑化の必要性を挙げており、継続した取り組みが必要である。 |
| ■今後の方向性 | <p>I. 拡充 II. 継続 III. 縮小</p> | <p>IV. 廃止・休止 V. 完了</p> |